

“思い出”の糸をたどって

上田敏と北原白秋との出会いによる
ヴェルレーヌとの巡り合い

ドミニク・パルメ（翻訳家）

ディスカッサント：タヤンディエー・ドウニ
（立命館大学国際関係学部 准教授）

司会：中川成美（立命館大学文学部 特任教授）

2019年7月8日 17:00～19:00

立命館大学衣笠キャンパス

末川記念会館 第3会議室

事前申し込み不要・参加費無料

ドミニク・パルメ Dominique PALMÉ

1949年パリ生まれ。ソルボンヌ(パリ第3)大学で比較文学を専攻。1980年代半ばから日本近現代文学作品の翻訳作業を開始し、現在までの翻訳作品数は、三島由紀夫、大江健三郎、大岡信、谷川俊太郎などを中心に20作品を超える。今年の2月に三島由紀夫『仮面の告白』の新仏訳語を上梓した。

主な翻訳作品

1993 : L' été / Nakamura Shin' ichiro 日仏翻訳文学賞受賞(1995年)

1996 : Notes de Hiroshima / Kenzaburô Oé

2004 : Les anges de Klee / Tanikawa Shuntarô, Abstème & Bobance

2014 : L' ignare (sekenshirazu)/ Tanikawa Shuntarô, édition bi-lingue, Cheyene éditeur

2019 : Confessions d'un masque/ Yukio Mishima

主催：立命館大学国際言語文化研究所 文化の移動と紛争的インターフェース

「世界／日本文学の展開とモダニティ」研究会

問い合わせ先：genbun@st.ritsumeai.ac.jp TEL:075-465-8164（立命館大学国際言語文化研究所）